



雨が降ると肌寒く、晴れると蒸し暑い日が続いています。6月は体調を崩すお子様が増えてきます。体調管理に気を付けて生活していきましょう。また、梅雨から夏にかけて食中毒が発生しやすくなります。食材の保存や調理において衛生面に気を付け、食べる前に手を洗うよう心がけていきましょう。

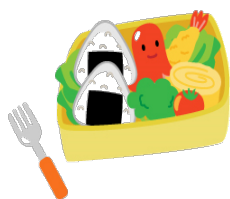
5月の病児保育室りんりんでは、風邪症状・胃腸炎・アデノウイルス・ヘルパンギーナ・RSウイルス・溶連菌のお子様が来られました。

### アデノウイルスとは

呼吸器、目、腸、泌尿器などに感染症を起こす原因ウイルスです。発熱・咽頭炎・結膜炎を起こします。

汚れた手指やタオルの共有、プールでの接触、呼吸器からの飛沫など様々な経路で感染します。アデノウイルスの感染予防は、うがいと石鹸・流水による手洗いが重要です。手洗い後、アルコール手指消毒薬を使うことで、さらなる予防効果が期待できます。

非常に感染力が強いため、学校や家族内流行することが多いです。症状がでて2週間は感染力が強いといわれています。



### りんりんでの食事について

お子様の体調に合わせて好きなものや、食べられるものを持ってきてください。

(市販のものでもかまいません。)

なお、ミニトマトやブドウ・サクランボなど丸いものは窒息事故防止のため、1/4などにカットして入れてください。また、ピックなど細くて尖ったものは使用しないでください。

### ねが お願い

ご持参いただくものには、必ずお名前の記入をしてください。おやつ一袋ごと、お弁当箱・スプーン・タオル類にもお願いします。



### 5月の利用状況

風邪	78名
胃腸炎・下痢	13名
アデノウイルス	3名
RSウイルス	1名
ヘルパンギーナ	2名



あずかるこちゃん



©RINRIN.SUZUKI

